



▶ 調印式に出席した佐藤町長(右から2番目)

「有明定住自立圏形成協定の一部を変更する協定」調印式

町では、平成25年度から、大牟田市を中心とする柳川市・みやま市・荒尾市・長洲町との4市2町で有明定住自立圏形成協定を結んでいます。

本協定では、地域の抱える問題や課題について、連携した取り組みをすることで、各自自治体単独では難しい問題を解決したり、より効果的・効率的な施策の展開を図ることを目指しています。

今回は、新たに環境保全活動の推進・危機管理体制の強化・業務効率化の3項目を追加したほか、これまでの事業を統廃合するなど6項目が変更され、その調印式が11月8日、大牟田市役所で行われました。

佐藤町長は「住民の安心・安全な暮らしに直結した取り組みを連携していきたい」と話しました。

一人ひとりに届ける花火

地元有志で花火打ち上げる

新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、多くのイベントが中止になり不安な日が続く中、町に元気や勇気を届けようと、町有志による「なんかん元気プロジェクト」実行委員会(吉武実友実行委員長)を組織し、11月14日、花火打上げイベントを開催しました。花火打上げ費用は地元企業や町民から寄付を募り約240万円が寄せられました。

密を避けるため各校区ごとに4か所で午後8時一斉に打ち上げを開始。それぞれ200発、計800発が打ち上げられました。

道路沿いや軒先で見物していた住民らは特大の花火を眺め、歓声をあげて拍手を送っていました。

吉武実行委員長は「子どもたちの歓声が聞こえたの

▶ 打ちあがった花火



で、本当にやって良かった。今後も継続して皆さんに喜んでもらえるような企画をしたい」と笑顔で話しました。

良質な農林産物集まる

南関町農林産物品評会

町は11月21日、農林産物品評会をJAたまな南関総合支所で開催しました。この品評会は、町の農林産物を多くの人に知ってもらい、農業振興に寄与することを目的に毎年、実施しています。

葉菜や果樹などの8つの部門に60人が79点を出品しました。

また、表彰式が24日、町役場で行われ、金賞を受賞した出品者に表彰を行いました。

各賞の受賞者は右のとおりです。(敬称略)



▶ 金賞を受賞した出品者

【金賞】

松崎 一男=四ツ原(キャベツ)
伊藤 亨=久重(大根)
成清日出夫=宮尾(キウイ)
矢野 房幸=関下(カボチャ)
龍 輝代=肥猪(小豆)
北原 政信=関東(タケノコ)

【銀賞】

猿渡 政子=関外目(白菜)
武田 邦夫=関外目(さつまいも)
松崎 誠一=四ツ原(山芋)
北原 政信=関東(レモン)
片山 弘美=関東(ナス)
葛城れい子=宮尾(米粉のシフォンケーキ)

【審査員特別賞】

橋本 清宏=久重(しいたけ)
田中 誠一=上長田(ニンジン)
猿渡 政子=関外目(ブロッコリー)

南関町を歩いて巡る

みんなでウォークラリー

町子ども会連合(日高香奈恵会長)は11月29日、ウォークラリー大会を行いました。

このイベントは南関町を知ってもらい、チームメイトを思いあう気持ちを学んでもらおうと毎年開催し、今年で11回目。当日は子どもから大人までの28チーム147人が参加し、第二小学校を起点に上長田の諏訪神社や、4か所のチェックポイントを巡る約10キロを楽しく歩きました。また、各ポイントには、南関中学校の「喜ばせ隊」や高校生がボランティアとして参加し、イベント運営に協力しました。

友人と参加した山本くららさん(相谷)は「楽しくてゴールまではあつという間だったけど、謎解きは難しかった」と疲れを感じさせない笑顔で話しました。



▶ チェックポイントを巡る子どもたち

順位	チーム名	時間	点数
1	一小かまぼこ隊	3時間25分	142点
2	MG	3時間16分	141点
3	6等分のフレンド	3時間5分	134点
4	フォートナイト	3時間32分	132点
5	キラキラなかよしガールズ	3時間29分	130点
6	煌々と芯大蒼	3時間33分	129点
7	ゆかりとゆかいな仲間たち	3時間11分	128点
7	#ARMY♡	3時間27分	128点
9	キングギドラ	3時間36分	123点
10	3年女子会	2時間58分	122点
11	たんじろう	3時間40分	121点
11	プリティ♡ガールズ	3時間48分	121点
13	少年探偵団	3時間46分	119点
14	しのぶ	3時間43分	118点
14	ニコニコ♡	3時間45分	118点
16	スマイルクローバー	3時間57分	112点
17	3OB	3時間52分	111点
18	ハリースター	3時間59分	106点
19	むくのき	3時間54分	104点
20	サッカー少年	3時間50分	103点
21	4小の仲間	4時間0分	100点
22	だんご4しまい	4時間2分	99点
23	ドラゴンキラキラチーム	3時間47分	97点
24	みやみやチーム	4時間1分	95点
25	元気に歩こう2年生!!	4時間4分	85点
26	スモール パワー	4時間49分	36点
27	コパン	4時間50分	35点
28	長洲町子ども会連合会	3時間27分	138点(オ-ブ)

豪雨被害の農業支援に役立てて

県農業会議・県認定農業者連絡会議が寄付

一般社団法人熊本県農業会議(森日出輝会長)と県認定農業者連絡会議(西原貞二会長)は11月12日、町を訪問し令和2年7月豪雨で被害を受けた被災者のために、約16万円を町に寄付しました。

これは両組織が会員を通して義援金を募り、寄せられた義援金を甚大な被害を受けた10市町村に贈呈したものです。

同日、町役場で行われた贈呈式には町関係者が出席し、目録を受け取った大木副町長は「温かいご支援ありがとうございます。農業災害支援のため、有効に使わせていただきます」とお礼を述べました。



▶ 写真右から森会長、大木副町長、西原会長



▶ ボランティアに取り組みする婦人会の皆さん

できる人ができる時にできることを

町婦人会が人吉市で支援活動

南関町婦人会(熊谷喜代子会長)は8月から3か月の間、7月豪雨後、人吉市で食の提供や物資配布のボランティアに取り組み「農村レストランひまわり亭」の支援活動に行きました。

約150食の弁当や汁物を作り、自宅の片付けをしている人や仮設住宅に入居する被災者に配りました。

また、被災支援に賛同した町内の事業者や個人から南関米、南関あげ、黒棒やみかん、ナスなどの提供を受け、被災地に届けるとともに南関町をアピールしました。弁当を受け取った被災者は「貴重な食材を大変ありがたい」と笑顔で話しました。

熊谷会長は、「皆様のご協力に感謝します。今後も継続して支援を行っていきます」と話しました。